Dance Community forum #5

We dance 2012 yokohama

9.22［Sat］-9.23［Sun］KAAT 神奈川芸術劇場

白神ももこ　振付家・演出家・ダンサー／「モモンガ・コンプレックス」主宰
井上　大輔　振付家・ダンサー／「21 世紀ゲバゲバ舞踊団」所属
鳴海　康平　演出家／「第七劇場」主宰・「旅居」
阿竹　花子　ダンサー・振付家／「旅居」主宰
神里　雄大　演出家・作家／「岡崎藝術座」主宰
村本すみれ　振付家・演出家／「MOKK」代表
木ノ下裕一　「木ノ下歌舞伎」主宰
黒沢　美香　振付家・ダンサー／薔薇ノ人クラブ代表、黒沢美香＆ダンサーズ代表
池浦さだ夢　「男肉 du Soleil」団長
「スクール・オブ・ダンス」リサーチ班

＊「KAFE9」共同開催
＊「Dance Dance Dance @ Yokohama 2012」連携プログラム
＊「OPEN YOKOHAMA 2012」参加事業

特設サイト　http://www.wedance.jp/

主催：「We dance 横浜 2012」実行委員会（NPO 法人 Offsite Dance Project & nottDance）
広報のお問合せ：NPO 法人 Offsite Dance Project 〒231-0834 横浜市中区池袋 10-1-202
Tel.090-6346-5820　Fax.045-228-9270　E-mail: info@offsite-dance.jp

企画主旨

「We dance」は、アーティストの創造意欲とエネルギーの求心力でコンテンポラリーダンスの活性化を目指し、NPO 法人 Offsite Dance Project が 2009 年から毎年開催しているダンス・コミュニティ・フォーラムです。
このたび、第５回目となる「We dance 横浜 2012」を本年 9 月に、横浜市が開始するダンスのアートフェス「Dance Dance Dance @Yokohama 2012」と KAAT 神奈川芸術劇場が開始する新プロジェクト「KAFE9」（カフェナイン）と連携し開催します。

「We dance」は、コンテンポラリーダンスの状況に対する危機感から 2009 年に横浜で開始しました。ダンスを取り巻く環境や制度が整備される中で、シーンを突き動かしてきたアーティストの声が聞こえなくなってきたことから、今一度皆で集まって、「いま何を問題として作品を創っているのか、未来に何ができるのか」を語り合う共通の基盤を見いだそう、というのが始まりです。これまで 350 人を越える多分野のアーティストが参加し、いまあるダンス状況に揺さぶりをかけるような刺激的な試みを展開しています。
最近では地域を越えた活動へと発展し、４回目には京都在住の振付家・きたまりのディレクションのもとで、関西のダンスアーティストが一堂に会する「We dance 京都 2012」を本年 2 月に開催しました。このフォーラムでは、演劇から３人の気鋭の演出家（多田淳之介・筒井潤・相模友士郎）が初顔合わせのダンサーと作品づくりに取り組み、今後の身体の可能性に迫る試みとして大きな話題を呼びました。

５回目を迎える今回は、前回京都開催が投げかけたテーマ “演劇とダンス／身体性の交換”の新たな展開を期して、ダンスと演劇の垣根を越えて独自の活動を展開する振付家、白神ももこ（しらがももこ）を共同プロデューサーに迎え、４つの新作を含む８プログラムを二日間にわたり行います。
白神ももこは1982年生まれ、モモンガ・コンプレックスの主宰・振付家として独自のダンス作品を発表する一方で、ままごとや木ノ下歌舞伎、神里雄大ら演劇の演出家との共同創作を行ってきました。今回の「We dance」では、白神は第1日目の９月22日のディレクションを手がけ、同世代の振付家、井上大輔と村本すみれを中心とした新プロジェクト「**nottDance**」（ノット・ダンス）を始動。異なる方向性や手法で活動している若手アーティストが向き合い、初めて出会ったアーティストとの共同作業や新しい手法によるクリエーションに挑みます。演劇の演出家とダンサー、振付家と俳優、ダンサーと観客、それらの新しい関係性から生まれる化学反応で、コンテンポラリーダンスの新しい可能性を拓く試みです。

２日目の９月23日には、京都公演にも参加した「男肉 du Soleil」（オニク・ド・ソレイユ）の池浦さだ夢が身体性×批評性のバトルを繰り広げる〈一般参加プログラム〉、５年ぶりの登場となる黒沢美香の伝説の即興ダンス「lonely woman」。そして、６人の振付家が横浜市内の小学校で半年間ダンスの授業を実施する「スクール・オブ・ダンス」の経過報告とトークセッションで、アート教育の多様な手法やその可能性に迫ります。

「We dance 横浜2012」は、それぞれの視点でダンスを発明してきたアーティストが挑む初の共同作業や新たな手法による創作・上演、トークなどを通じて、多様なダンスの試行／思考にお立ち会いください。

「We dance 横浜 2012」実行委員会
岡崎松恵（NPO 法人 Offsite Dance Project 代表）
白神ももこ（nottDance 代表）

開催要項

タイトル	**Dance Community Forum#5 「We dance 横浜 2012」**
日時	**2012年9月22日（土）・23日（日）14:00～21:00** 受付開始・開場：13:30
会場とアクセス	**KAAT 神奈川芸術劇場**　中スタジオ・小スタジオ　（横浜市中区山下町 281） みなとみらい線「日本大通り駅」3 番出口より徒歩 5 分 みなとみらい線「元町・中華街駅」1番出口より徒歩8分 JR・横浜市営地下鉄ブルーライン「関内駅」より徒歩 15 分
参加アーティスト	白神ももこ／井上大輔・斎藤栗子・武田幹也／鳴海康平・阿竹花子・舞台美術男子（内海正考、小野正彦、重岡漠、中本章太、濱崎賢二、新宅一平）／神里雄大・入手杏奈／村本すみれ・荒井志郎・岡本陽介・酒巻誉洋・夏目慎也・細身慎之介・緒方祐香・工藤倫子・墨井鯨子・たかぎまゆ・山下彩子／木ノ下裕一／黒沢美香・のぎすみこ・SEIDO・ノムラヒハル・宇野敦子・谷川まり・クリタチカコ・越川知尚・青木研治・遠藤寿彦・平松み紀・サエグサユキオ・萩原富士夫・さそうすなお・何が欲しいんだ?／スクール・オブ・ダンス リサーチ班：川上暁子 ・松岡綾葉・梶本はるか／池浦さだ夢・きたまり／他　（※7/20 現在:プロフィールはサイトを参照） STAFF プロデューサー：岡崎松恵（NPO法人Offsite Dance Project）、白神ももこ（nottDance） 舞台監督：三津久／照明：三浦あさ子／音響：小早川保隆／制作：伊藤史織／フライヤーデザイン：京（kyo.designworks）／ウェブデザイン：加藤和也／記録映像：藤井光／記録写真：森日出夫／運営スタッフ：安原尚代、他
料金	2day パスポート 6,000 円 9.22 1day パス 4,000 円／9.23 1day パス 3,000 円 単券 500 円～2,500 円 ＊当日は 300 円増し ＊通し券は枚数限定販売。売り切れ次第、単券のみの取扱となります。
チケット予約	特設サイトからのオンライン申込　**http://www.wedance.jp/**
問合せ先	「We dance 横浜 2012」実行委員会（NPO 法人 Offsite Dance Project 内） E-mail：info@wedance.jp　Tel. 090-6346-5820
開催形態	主催：「We dance 横浜 2012」実行委員会（NPO 法人 Offsite Dance Project・nottDance） KAAT 神奈川芸術劇場（指定管理者：公益財団法人神奈川芸術文化財団） NPO 法人ドリフターズ・インターナショナル 助成：公益財団法人セゾン文化財団、ACY 先駆的芸術文化活動支援助成 後援：横浜アーツフェスティバル実行委員会／特別協力：急な坂スタジオ
連携機関	「KAFE9」参加プログラム　http://www.kafe-kaat.jp 「Dance Dance Dance @ Yokohama 2012」連携プログラム　http://dance-yokohama.jp 「OPEN YOKOHAMA 2012」参加事業　http://www.open-yokohama.jp

「We dance」とは：

ダンス当事者による〈場〉の創造をコンセプトとし、毎回多数のアーティストが企画・制作・運営に参加。アーティストがディレクター／キュレーターとなり、実験的・横断的なパフォーマンス、ワークショップ、トークセッションなどを展開している。これまでキュレーターを務めたのは、黒沢美香、スカンク、手塚夏子、中村恩恵、山崎広太、山下残、白井剛、きたまり、KENTARO!!、新鋪美佳、捩子ぴじん、篠田千明（快快）、高嶋晋一、宇波拓など新進気鋭の若手からキャリアを積んだ振付家・音楽家・演出家・美術家など。このフォーラムから、コンペティションの受賞作品やフェスティバルの参加作品、新しいコラボレーション作品も生まれており、観客にとっても多様なダンスの考え方や深い思考に触れる機会になっている。
第1回・第2回は歴史的建造物の横浜市開港記念会館をまるごと使用。2回目から1ヶ月にわたるワークショップ「試行と交換」を開始。3回目は3人の若手アーティスト（きたまり、捩子ぴじん、篠田千明）をディレクターに起用し、TPAMと連携し複数施設で実施。そして4回目には京都からの「舞台芸術における創造的場の構築」を目指し、きたまりのディレクションのもとで初の関西での開催など、アーティストの自発的な問いが年々「We dance」の広がりをもたらしている。

9 月 22 日 プログラム：nottDance

コンテンポラリーダンスなんて、不本意のかたまりだ！

私自身ダンス？なるものを通して、さまざまな屈折に屈折を重ねてきましたが、不本意な事態が生じるのが世の常ならば、コンテンポラリーダンスなんて曖昧なものは大抵不本意だ!!と思ったわけです。けれど、その不本意な瞬間や出会いこそが新たな可能性と社会というものの面白さでもあるわけで、今回独断と大いなる偏見で、不本意そうな人々を不本意そうな組み合わせでプログラムしてみました。そこから生まれる小さな不本意たちがダンスのためになるならば、これこそわたくしの本意であります。

—白神ももこ

白神ももこ　Momoko Shiraga／振付家・演出家・ダンサー
「モモンガ・コンプレックス」主宰
「We dance 横浜2012」共同プロデューサー、「nottDance」代表

1982年東京都生まれ。桜美林大学文学部総合文化学科卒業。幼少よりバレエを始める。05年ダンス・パフォーマンス的グループ「モモンガ・コンプレックス」を旗揚げ。以来、全作品の振付・演出を担当。独自の観察眼と地味かつ省エネな手腕で隙間だらけの世界を描く。また、ままごと『わが星』等の演劇作品への振付等、活動は多岐に渡る。09年神里雄大とのユニット鰰[hatahata] を結成。12年3月に、村本すみれ・井上大輔を中心とした実験的なプロジェクト「nottdance」を始動。

01.『井上大輔の果敢なる挑戦
ソロダンス〈百年の身体〉シリーズ　リ・クリエーションズ』

9/22（土）14:00—15:30／小スタジオ／前売1,500円 当日1,800円

「井上大輔ソロ編」
「斎藤栗子ソロ編」　共同振付：井上大輔、斎藤栗子
「トリオ編」　振付：井上大輔／出演：斎藤栗子、武田幹也 他

大学時代からダンスを始め、伊藤キム主宰「輝く未来」を経て、ソロ及び「21世紀ゲバゲバ舞踊団」を立ち上げ活動している井上大輔。自身振付出演によるソロダンス「百年の身体」シリーズを他ダンサーが踊るという他者からの目線を入れることで新作として再構築。ソロダンスという私的な身体言語を、他者との交換により新たな言葉として放つ。これは日常的には当然の行為として行われながら、しかし極めて果敢なる挑戦。

写真：井上大輔（撮影：福井理文）

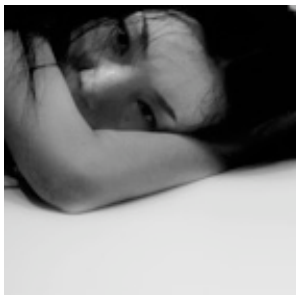
井上大輔 Daisuke Inoue／振付家・ダンサー／「21世紀ゲバゲバ舞踊団」所属
1983年生まれ。桜美林大学総合文化学科卒業。大学でコンテンポラリーダンスに出会い、木佐貫邦子にコンテンポラリーダンスを、バレエを三浦太紀に学ぶ。07-08年伊藤キム主宰「輝く未来」での活動を経てソロダンスを発表。一方でピアニスト・指揮者の中川賢一とのコラボレーションWS、パーカッショニストのはたけやま裕のLIVEで踊るなど他ジャンルの表現者との協働にも取り組む。09年「ラボ20＃21」でラボアワード受賞。

斎藤栗子　Kuriko Saito／ライター・イラストレーター・ダンサー
1983年埼玉県生まれ。早稲田大学第一文学部演劇映像専修卒業。ライター・イラストレーターとして「トーキングヘッズ叢書」へ寄稿するほか、ダンサーとして黒沢美香＆ダンサーズ・磯島未来・吉福敦子作品に出演。ソロ作品の発表も。本名：斎藤麻里子。

02. 『旅居 vol.03』

9/22（土）16:30―17:10／中スタジオ／前売1,500円 当日1,800円

構成・演出：鳴海康平
振付：阿竹花子
出演：阿竹花子、舞台美術男子［内海正考・小野正彦・重岡 漠（青年団）・中本章太・濱崎賢二（舞台美術研究工房 六尺堂）・新宅一平（ドドド・モリ）］



ダンサーの阿竹花子と第七劇場主宰・演出家の鳴海康平によるダンスユニット「旅居」。演劇的なコンセプトメイクでダンサーの身体すら透明になりうる空間を製作。本作では、2012年3月モモンガ・コンプレックス公演『ご多分にもれず、ふつう。』に登場した人間舞台美術の人々＝〈舞台美術男子〉とともに、「そうなってしまった」と「そうじゃなかったかもしれない」とのぼんやりした境界線を探しに出かけてみる。

写真：旅居／阿竹花子（撮影：yumiko shiba）

鳴海康平　Kouhei Narumi／演出家／第七劇場・旅居
第七劇場主宰・演出家。さまざまな強さや緩さを持つ身体性が共存するパフォーマンス、場所の特徴を活かした美しい空間構成と美術で国内外において評価を得て、これまで国内15都市、海外3ヶ国5都市で作品を上演。演劇の演出家でありながら、ダンサー・阿竹花子とともにダンスユニット「旅居」を結成し、コンセプトデザイン・演出・美術などを務める。ポーラ美術振興財団在外研修員（フランス・2012年秋より）

阿竹花子　Hanako Atake／ダンサー・振付家／旅居
1996年London Studio Centre 卒業。フリーランスとして国内外のダンスカンパニーに客演する一方、ソロとして様々なアーティスト（音楽、絵画、映像、インスタレーションなど）とのコラボレーションを行う。05年より「クリウィムバアニー」の全公演に出演、08年には第七劇場・演出家、鳴海康平とダンスユニット「旅居」を結成。近年は演劇作品への振付け提供も行う。

舞台美術男子
2012年3月にSTスポットで初演したモモンガ・コンプレックスの『ご多分にもれず、ふつう。』（振付・演出：白神ももこ）に初登場。オーディションにより役者・建築家など普通の人々の身体を、人力による舞台美術として登場させた。今回は初演メンバーに、ダンサーも参加。

（右：写真／撮影：北川桃）

03. 『杏奈（俺）』

9/22（土）18:00―18:40／中スタジオ／前売1,500円 当日1,800円

振付・演出：神里雄大
出演：入手杏奈

岡崎藝術座主宰・演出家の神里雄大が、2012年5月、ベルリンビエンナーレでヨーロッパ最大の（日本でもこれからそうなるであろう）トピックのひとつである移民についての議論をし、ブリュッセルで実際に移民にiPhoneを強奪され、移民輸出国であるモロッコでアラブ人たちの人情に触れた経験をもとに、一度しか会ったことのない、「まことクラヴ」やソロで活動するダンサーの入手杏奈と、他人についてのダンス作品をつくります。

写真：入手杏奈（撮影：bozzo）

神里雄大　Yudai Kamisato／演出家・作家／「岡崎藝術座」主宰
1982年ペルー共和国リマ市に生まれ、川崎で育つ。2003年早稲田大学在学時に「岡崎藝術座」を結成。06年『しっぽをつかまれた欲望』（作：パブロ=ピカソ）で利賀演出家コンクール最優秀演出家賞を最年少で受賞。09年『ヘアカットさん』が第54回岸田國士戯曲賞最終候補作品にノミネート。同年白神ももこと、ユニット"鰰[hatahata]"を結成し、ダンスでも演劇でもない新しいパフォーミングアートを目指し活動している。

入手杏奈　Anna Irite／ダンサー・振付家
1984年生まれ。幼少よりクラシックバレエを学ぶ。桜美林大学文学部総合文化学科卒業。在学中よりコンテンポラリーダンスを木佐貫邦子に師事。以後、多くの木佐貫邦子作品をはじめ、様々な振付家の作品にダンサーとして出演。09年より「まことクラヴ」（遠田誠主宰）に参加。また自作ソロ作品の発表や、音楽PVへの振付出演も多数行う。11年より、桜美林大学出身のダンサーで結成された「21世紀ゲバゲバ舞踊団」の活動を開始。

04.『不本意ラウラ』

9/22（土）19:30―20:10／中スタジオ／前売1,500円 当日1,800円

演出・振付・音楽：村本すみれ
出演： 荒井志郎（青☆組）、岡本陽介、酒巻誉洋、夏目慎也（東京デスロック）、細身慎之介、緒方祐香、工藤倫子（青年団）、墨井鯨子（乞局）、たかぎまゆ、山下彩子

“劇場機構にとどまらない空間からの発信”を軸としたダンスプロジェクト「MOKK」代表・振付家、村本すみれ。本作は、2010年に東京キリストの教会で初演した『LAURA』をモチーフに、異なるタイプのダンサーや俳優を用いてリクリエイト。初演では24名が出演、2011年ソウル国際振付フェスティバルでは12名に縮小し上演を重ねてきた作品。今回初めて出演者を自分で選ばないという“不本意”も楽しみの一つである。

村本すみれ　Sumire Muramoto／振付家・演出家／「MOKK」代表
1983年生まれ。日本大学芸術学部演劇学科卒業。07年よりダンスプロジェクト「MOKK」を立ち上げ、景色や特殊空間に新たな美しさや色彩豊かなストーリーを感じさせる演出で、独自の美的世界観を描く。クリエイターやダンサーとのコラボレーションで、〈劇場機構にとらわれない空間からの発信〉を軸に、特異な空間での実験的なLABOや壮大な世界観のproject、映像作品の製作も行う。’10ブダペスト国際映像祭、’11ソウル国際振付フェスティバル招聘参加。　（右上写真：践池上直哉）

05. talk session 木ノ下裕一（木ノ下歌舞伎 主宰）×白神ももこ

9/22（土）15:30　小スタジオ／20:20　中スタジオ／チケット半券ご提示で入場無料
一日を通して、新しいダンスの見方を発掘する試みをゲストとともに展開します。詳細はwebサイトにて。

木ノ下裕一　Yuichi Kinoshita／「木ノ下歌舞伎」主宰
1985年和歌山生まれ。小学校3年生の時、上方落語を聞き衝撃を受けると同時にその日から独学で落語を始め、その後、古典芸能への関心を広げつつ現代の舞台芸術を学び、古典演目上演の演出や監修を自らが行う「木ノ下歌舞伎」を旗揚げ。創造支援公募プログラム坂あがりスカラシップ2011対象者。京都造形芸術大学大学院 博士課程在籍。演劇活動のほかにも、古典芸能についての講演や講座、執筆など精力的に活動中。

9月23日 プログラム

01.『lonely woman』

9/23（日）14:00―16:00／中スタジオ／前売2,500円 当日2,800円

コンセプト：黒沢美香
出演：のぎすみこ、SEIDO、ノムラヒハル／宇野敦子、谷川まり、黒沢美香／クリタチカコ、越川知尚、青木研治、／遠藤寿彦、平松み紀、サエグサユキオ／萩原富士夫、さそうすなお、何が欲しいんだ?

黒沢美香の伝説のダンスプロジェクト「偶然の果実」（1990-2002）の中で生まれ、第１回バニョレ振付コンクールで日本国内最優秀賞を受賞。日本代表として渡仏するも、即興性の強さゆえにフェスティバルから上演を拒否された演目。“立ったその場所を動いてはならない”というルールひとつで、3人のダンサーが交代で、横一列で30分間のダンスを行う。参加者は音楽家、美術家、詩人など多分野に及び、それぞれの方法でダンスをつくりあげる。

黒沢美香　Mika Kurosawa／振付家、ダンサー／薔薇ノ人クラブ代表、黒沢美香＆ダンサーズ代表
横浜生まれ。1982～85年NY滞在中ジャドソン・グループを追いかける。「黒沢美香＆ダンサーズ」、ソロダンス『薔薇の人』シリーズを図り、踊る大学教授陣「ミカヅキ会議」を新設。子どもの文化芸術体験事業や、社会・地域連携プログラムに参加。舞踊コンクール第 1 位、新人賞、優秀賞、舞踊批評家協会賞、日本ダンスフォーラム賞、ニムラ舞踊賞など受賞。日本のコンテンポラリーダンス界のゴッドマザーと称されている。

02.「スクール・オブ・ダンス」の記録

9/23（日）16:30―18:30／小スタジオ／前売500円 当日800円

企画・報告：スクール・オブ・ダンス リサーチ班ー川上暁子、松岡綾葉、梶本はるか

本年6月から半年間にわたり、横浜市内の6つの小学校に6人の振付家が出向き、子どもたちとダンスの授業を実施する「スクール・オブ・ダンス」。ダンサーであり、教育現場でも活動しているレポーター達が、授業の様子を取材。途中経過の報告をもとに、映像記録を交えながら、アート教育の多様な手法やその可能性に迫るトークセッション。

「スクール・オブ・ダンス」とは:
学校教育とアートをつなぐ「横浜芸術文化教育プラットフォーム」と「Dance Dance Dance @Yokohama2012」との連携で開催する「スクール・オブ・ダンス」。 本年12/1に開催される「はまっ子スポーツウェーブ 第52回横浜市立小学校体育実技発表会（会場：横浜文化体育館）」で表現リズム遊び／表現運動の発表を行う市内6校で、第一線で活躍する6人の振付家がダンスの授業を実施している。

開催日：2012年6月～12月／会場：横浜市内小学校6校（金沢区・緑区・瀬谷区・神奈川区・都筑区・青葉区）
参加：市内6校の児童（1年生～6年生）／担当アーティスト：伊藤千枝、黒沢美香、黒田育世、東野祥子、矢内原美邦、Co.山田うん
主催：横浜アーツフェスティバル実行委員会 ／コーディネート：NPO法人Offsite Dance Project
協力：横浜市芸術文化教育プラットフォーム http://y-platform.org

03.『Dis/Respect for you』 〈一般公募参加プログラム〉

9/23（日）19:00―20:30（終演は予定）／中スタジオ／前売1,500円 当日1,800円

企画・ラップ：池浦さだ夢
出演：一般公募参加ダンサー／ゲスト出演：きたまり

J-POP、ヒップホップ、レゲエ、漫画、アニメ、ゲームなど様々なポップカルチャーの知識を確信犯的に悪用し、唯一無二のダンスパフォーマンスを繰り広げる「男肉duSoleil」の団長の池浦さだ夢。ダンス×ラップ、身体性×批評性のバトルを目論み、ダンサーを募集する。「YouTubeでもUstreamでもブログでもニコ動でも何でもいい。あんたらのダンスに俺がラップでアンサーだ。最終決戦はKAATで。」

池浦さだ夢 Sadayume Ikeura／男肉 du Soleil 団長
2005年近畿大学にて碓井節子に師事し、ダンスを学んでいた学生が集まり「男肉 du Soleil」を結成。J-POP、ヒップホップ、レゲエ、漫画、アニメ、ゲームなど、さまざまなポップカルチャーの知識を確信犯的に悪用するという方法論のもと、唯一無二のダンスパフォーマンスを繰り広げている。

「Dis/Respect for you」募集要項／出演者募集中！

詳細はサイトをご覧下さい。池浦さだ夢のメッセージ映像をご覧のうえ、以下の要領でご応募ください。

- 公演日時：2012年9月23日（日）19:30～（21:00終演予定）
- 会場：KAAT神奈川芸術劇場 中スタジオ
- 募集作品：6作品程度／池浦さだ夢とバトルする10分以内のパフォーマンス（ジャンル不問）
- 応募締切：8月20日（月）
- 申込方法：(1)氏名及びグループ名 (2)連絡先 (3)上演作品情報（タイトル・主な参加者） (4)プロフィール (5)映像リンクアドレス、を以下までお送りください。
- 申込先＆問合せ先：「We dance 横浜2012」実行委員会（NPO法人Offsite Dance Project内）mail:info@offsite-dance.jp
- 参加費：無料

■テクニカル情報：
- 基本舞台：間口9間×奥行2.5～3間、床：リノ リウム／キャパ：200席（通常のホール使用とは異なり、変形舞台となります）
- 使用機材：基本照明＋音響／オペレーションは当実行委員会ス タッフで対応
- 事前の場当たり可（要日程調整）。特別な演出を予定している方は、応相談。

■制作情報：
- 参加にあたっての謝礼やノルマはありません。
- 出演者にはアーティストパスを提供します（全プログラムのフリー入場／枚数限定）。